

協力隊の大木です。今年度で卒隊のため、私が協力隊だよりを担当するのは今回が最後になります。協力隊として活動した4年間でとうとう終わってしまうのかと思うととても感慨深いです。卒隊直前の来年3月頃に協力隊全員で活動報告会を実施しますが、いつも広報を読んでくださる町民の方へ感謝をお伝えしたく、少し早いですが卒隊のごあいさつをさせていただきます。

不安と戸惑いの日々を過ごした1年目

私は、新型コロナが猛威をふるい、収束が見えない頃に着任しました。活動内容は平たく言えば「関係人口増加のためのかけづくり」。

活動内容が不明瞭な状態で、町民向けのイベントさえもできず、身動きが取れない状況。完全に路頭に迷った状況からのスタートでした。

協力隊向けの講習会もすべてオンライン上のみで知り合いも増えず、不安を抱えながら活動していました。

自分の故郷ですが、この仕事を始める前と後では、地域との関わり方が180度変わりました。慣れない仕事も相まって、まるで知らない町にきたかのような感覚に陥った時期もありました。

とりあえず出来ることからインスタグラムでの情報発信をスタートさせました。

自分で考え、できることをやってみた2年目

新型コロナ対策が徐々に緩和され、関東圏の行き来は制限が残る中、近隣市町村在住者向けに少人数のイベントを開催できるようになりました。

会津美里町は1年を通してさまざまな種類の農産物が生産されており、農業に精力的に取り組んでいる農家さんもたくさんいらっしゃることから、「農業体験×食」イベントを企画しました。

若い女性の参加者やリピートして参加し楽しんでくださる方がいて嬉しかったです。また開催して欲しいというお声もたくさんいただきました。

また、新鶴ワイナリーで開催したマルシェをきっかけに、ワイナリーが「ワインを購入する場所」だけでなく、「イベントができる場所」として認知されるようになり、定期開催される「新鶴カサデビーノ」へと繋がっていきました。



▲高田梅収穫と梅漬けづくり
(協力：菜の花工房さん)



▲無農薬ブルーベリー手摘みと
ジャムづくり
(協力：会津自然塾さん)

町民の方と一緒に町を盛り上げた3年目

高田商店街の方から、あやめ祭りが神社だけで盛り上がっていて町中は寂しいというお話を受け、通りでマルシェを開催する企画を商店街の方や町に詳しい方などに直接聞き取りを行い、「あやめまちかどマルシェ」を実施しました。

開催までに苦労はありましたが、商店街の人たちを元気にしたいという想いのもと、地域の人たちの力を借り、たくさんの人たちの協力のおかげで実現できました。

これをベースに商工会が新たな賑わいづくりイベントとして「マチミセマルシェ」を開催するようになり、これからも地域の人たちが楽しく暮らすためのきっかけになればと願います。



◀あやめまちかど
マルシェの様子

卒隊を見据えて動きはじめた4年目

協力隊は通常3年間ですが、新型コロナの影響を受けた隊員に救済措置として1年延長が与えられました。

卒隊後の進路はまだ迷いがありますが、この町に残り起業しようと考えており、現在はそのための準備をしています。また、副業でキャンドル（蠟燭）作家活動もスタートしました。

協力隊の活動を通じて、実際にやってみなければ分からないところがあるし、やってやれないことはないことを体感しました。うまくいくかは分かりませんが、トライ&エラーの精神で挑戦してみようという気持ちです。

この4年の活動でたくさんの人たちと知り合うことができました。私が子育てをしながら協力隊として走りきることができたのは、たくさんの人たちに支えていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

インスタグラムで引き続き町の情報など発信していければと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

今月の協力隊

おおき るみこ
大木 瑠美子



町の情報発信 蠟燭作家活動

★地域おこし協力隊の活動報告やお知らせを行うページです。